

6月1日：ホーチミン市場はプラス圏で午前の取引を終えたが、システム負荷への懸念から午後は休場に

ホーチミン市場ではプラス圏で午前中の取引を終えたが、取引増加によるシステムへの負荷が懸念されるため午後の取引は休場となった。

ホーチミン市場のVN指数は0.73%高の1,337.78ポイントで引けた。値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、244銘柄が下落、169銘柄が上昇した。

出来高は非常に高水準で、取引所システムの安全性についての懸念を招いた。売買高は6億2,940万株以上、売買代金は約21兆8,000億ドンであった。

ホーチミン取引所は取引額が驚くほど急増したため、国家証券委員会の承認を得て、午後の取引を停止することを発表した。

取引所システムの安全性を守るため、能動的に取引を停止するのは今回が初めてケースだ。

ホーチミン証券取引所は取引参加者である証券会社に新たな指示が出る場合は投資家に通達するよう要請した。

「システムの負荷はあらゆる取引プラットフォームで発生した。証券会社の取引システムだけでなく、取引サイトや携帯電話の取引アプリでもだ」（金融ニュースサイト cafef.vn）

「注文を出したい投資家は証券会社を通して注文を出さなければならない」（同サイト）アクセスが集中したため、取引画面にログインできない人もいた。

株式市場では、直近2週間で取引が非常に活発になっており、ホーチミン市場の売買代金は直近5営業日の上昇で19兆ドンから23兆ドン以上に増加しており、引き続き取引所システムへの負荷を招いている。

VN30 指数は 0.55%高の 1,482.92 ポイントで取引を終えた。同指数組入銘柄のうち、16 銘柄が下落、14 銘柄が上昇した。

指数の上昇は引き続きマーケットの追い風となった。

ベトコムバンク (VCB) が 5.2%高の終値 103,700 ドン、ホアファットグループ (HPG) は 5.3%高の終値 55,500 ドンだった。

ベトナム国際銀行 (VIB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、HD バンク (HDB)、サイゴンハノイ銀行 (SHB) といった銀行株も上昇した。

鉄鋼株も引き続き大きく買われ、ホアセングループ (HSG)、ナムキム鉄鋼 (NKG)、ポミナ鉄鋼 (POM) などは全て上昇した。

世界的に石油価格が順調に回復しており、最近多くの石油ガスプロジェクトが実施されていることから、ペトロベトナムガス (GAS)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS)、ペトロベトナム・ドリリング (PVD)、ペトロベトナム・コーティング (PVB)、ペトロベトナム・ケミカル・サービス (PVC)、ペトロベトナム運輸 (PVT)、ビンソン製油石化 (BSR) といった石油ガス関連株も上昇した。

ハノイ市場では、HNX 指数が 0.21%安の 317.18 ポイントで取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。